

令和元年度（2019）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 学校関係者評価委員会は、平成30年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

令和元年7月2日

学校法人穴吹学園
専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジの自己評価結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

松本 義人	医療法人社団 西高松脳外科・内科クリニック	理事長
藤井 保貴	一般社団法人 香川県理学療法士会	副会長
樋本 英司	一般社団法人 香川県作業療法士会	理事
青戸 啓二	医療法人社団研宣会 広瀬病院	リハビリテーション部 部長
中川 真人	介護老人保健施設 白寿の杜	リハビリ室長
入江 美穂	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	保護者会 支部長
渡邊 大将	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	卒後研修会 会長

(学校教職員)

横倉 益弘	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	校長
中内 英樹	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	副校長
植野 英一	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	作業療法学科 課長
平岡 英樹	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	理学療法学科 主任

3. 学校関係者評価委員会の実施日時

開催日時 令和元年7月2日(金) 20:40～21:00

開催場所 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 301教室

4. 自己評価結果の説明と報告（自己評価報告書参照）

香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式で作成した「平成30年度自己評価報告書」をもとに、「教育理念」、「目的」及び「平成30年度の目標と計画」、評価項目ごとの「評価結果（総括）」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について説明した。

また、自己評価結果（総括）において「A」評定であったことを報告し、「目標達成状況」と「今後の課題・改善方策」について説明した。

なお、各評価項目の評定方法は、「香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式」の4段階評価基準（「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である）に準じて実施している。

5. 意見交換、質疑応答

「香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式」の評価項目に従い、「教育理念・目的・人材育成像」、「学校運営」、「教育活動」、「学修成果」、「学習支援」、「教育環境」、「学生募集と受入れ」、「財務」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」、「総括」と「自己評価結果（総括）」の順で意見交換をすすめ、下記の質疑並びにご意見を頂いた。

○「社会貢献・地域貢献」の10-2「学生ボランティア活動の奨励・支援」に関して

最近発達障害の子どもが増え、作業療法士の方にアドバイスを頂く機会がある。可能であれば作業療法の専門性を生かした目線で学生ボランティアとして参加していただくことは可能か？

- ▶ 本校のボランティア部活動または、有志ボランティアを募ることは可能である。学生にとっても新たな領域で専門職との関わりや出会いが得られる良い経験になると思います。詳細をご提示いただければ学生に周知し、活動の幅が広げられるよう支援致します。

○「教育活動」の3-3「キャリア教育・職業教育」に関して

同窓会として、昨年度から卒業生による職業教育として何かできることはないかと考え、1年生への解剖学を臨床に繋げる講義、2年生への評価実習前フォローを実施させていただいている。今年度も継続実施の方向で進めているので、是非協力をお願いしたい。

- ▶ 本校の教育課程を受けて専門職となり、臨床実習教育で後輩を育成する中で、先輩からの想いや気づき等を学生にフィードバックして頂きたいと思っている。学校としても継続的な実施をお願いしたい。

○「教育活動」の3-3「キャリア教育・職業教育」に関して

理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインの改正に伴い臨床実習教育も変化してきている。実習において何かしら国家試験出題範囲とリンクした教育ができるよう、臨床実習指導者会議などで提案してはどうか？

▶ 以前に、臨床実習の教育ツールとして、国家試験出題範囲とリンクした「チェックリスト」を作成し運用したが、臨床実習指導者の理解が得られず活用されなかったため運用を中止している。今回のクリニカルクラークシップの導入を契機に再考していきたい。

○「学生支援」の5-1「中途退学」に関して

作業療法学科の退学者がゼロ、以前比べると理学療法学科も退学者が減っているということで、人材育成に力を入れていることが伺える。四国の中でも穴吹リハが一番と言われることを期待しています。

○その他

- ・委員会の際に過去の議事録があれば把握しやすく、意見を十分に反映させることが出来ると思う。
- ・委員会の開催に先立ち、資料の事前配布をお願いしたい。

本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上